

ごあいさつ

盛夏の候、市民の皆様には、平素より湖誠会に對しまして温かいご支持、ご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

このたびの熊本地震において、犠牲になられた方々とご遺族の皆様には哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

さて、去る5月16日の招集会議において、我が会派の鷲見達夫議員が議長に、近藤眞弘議員が副議長に、また、伊藤茂議員が議選出の監査委員にいずれも全会派の支持を得て満場一致で選出されました。

市議会では、新たな議長、副議長のもと、昨年度に策定した議会ミッショントラックの実行テーマで

ある「議決事件の検証」や「議会図書室の充実」に引き続き取り組みとともに、「土地利用基本条例」の制定に向けた取り組みを始めたところであります。

我が湖誠会では、二元代表制の一翼を担う市議会の最大会派として、人口減少局面を迎えつつある本市において、将来にわたり持続可能なまちを実現するため、さまざまな課題の解決に向けて、所属議員一丸となつて常に『市民福祉の向上と活力ある大津の創造』を目指し、市民の皆様の声を大切にしていまいる所存でございますので、今後とも湖誠会ならびに会派所属議員に對し、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさついたします。

幹事長 竹内 照夫



前列右より

北村 正二議員

八田 憲児議員

青山 三四郎議員

近藤 眞弘議員

竹内 照夫議員

鷲見 達夫議員

仲野 弘子議員

津田 新三議員

武田 平吾議員

後列右より

幸光 正嗣議員

川口 正徳議員

桐田 真人議員

伊藤 茂議員

竹内 基二議員

中野 治郎議員

伴 孝昭議員

草野 聖地議員

6月通常会議が開催されました

6月通常会議では、市長から補正予算や条例の改正など31議案が提出。採決の結果、全ての議案を可決・同意しました。

補正予算には、湖誠会が提案し、政策検討会議で協議を重ね、本年3月に制定した「がん対策推進条例」に基づき、がん対策の基本的施策などを規定する「がん対策推進基本計画」の策定経費や、庁舎の整備に向けて早期の決断を求めている隣接国有地の取得費が計上されるなど、湖誠会の取り組みが、市民福祉の向上と市民の安全・安心を守ることに繋がりました。

主な審査議案

医療費助成条例の一部改正

市は現在、小学校4年生から6年生の入院に係る医療費の助成を行っています。子どもの医療費の負担軽減を図るため、平成29年1月診療分から新たに通院医療費の助成を拡大します。

庁舎整備推進事業(補正予算)

老朽化や耐震化などに課題がある現庁舎の整備に向けて、市庁舎の隣接国有地を取得するとともに、周辺の土壌汚染対策と土砂災害警戒区域の指定を踏まえた対策を講じます。

公共輸送対策事業(補正予算)

堅田葛川線のバス路線の減便に伴って、地域住民の移動手段を確保するなど、地域交通の課題の解決に向けて、デマンド型乗り合いタクシーの実証運行を行います。

ミッションロードマップ11任務
着実に実行しています!

現議員の任期4年間に於ける議会改革・政策立案の実行計画など11の任務を定めたミッションロードマップ。2年目を迎えた本年度は、任務の一つである「議長立候補に伴う所信表明と記者会見」を実現。我が湖誠会の鷲見達夫議員が議長選挙に立候補し、所信表明を行いました。

★政策検討会議で活発な議論を展開!

市議会では現在、二つのテーマについて、政策検討会議で活発な議論を実施しています。

▼(仮称)大津市土地利用基本条例

土地利用に関する基本的な方針や方向性を明確化し、本市の特性に則した土地利用の推進を図るため、「(仮称)大津市土地利用基本条例」の制定に向けて、新たに政策検討会議を設置。湖誠会からは草野聖地議員が委員として参画します。平成29年度中の制定を目指して議論を進めていきます。

▼議決事件の検証

湖誠会の武田平吾議員を座長に、竹内照夫議員が委員として参画。現在、政策検討会議で熱心な議論を進めています。

これまで、執行部との意見交換や立命館大学の駒林良則教授に助言をいただきながら延べ6回の会議を開催。議決事件に、市の重要な計画を追加することや、議会の委任による市長の専決処分項目について検討し、9月通常会議での条例改正を目指して、議論を続けていきます。

※議決事件

市としての意思決定を行うに当たって、必ず議会の議決が必要となる項目のこと



永年勤続表彰を授与

竹内照夫議員が20年表彰、北村正二議員が15年表彰

議会改革度ランキング2015で
大津市議会が全国2位を獲得!

早稲田大学マクロ研究所が行った「議会改革度調査2015」において、全国の地方議会の81・7%にあたる1460議会の中で大津市議会は2位を獲得しました。

大津市議会は、2012年では116位でしたが、その後、通年議会の導入、大学の専門的知見を活かした政策検討会議の運用、同志社・立命館大学とのパートナーシップ協定の締結、地方議会初となる議会BOPの策定、タブレット端末や電子採決の導入など、議会改革の取り組みを着実に実行。その結果、2013年は59位、2014年は18位に躍進するとともに、マクロ研究所大賞も3年連続で受賞するなど、全国で高い評価を得ています。

2015年は議会基本条例の理念を具現化するため、議会ミッショントラックを策定。「政務活動費の領収書などのホームページでの全面公開」などとあわせて、高い評価をいただきました。

今後とも湖誠会は、最大会派として常に大津市議会の先頭に立ち、議会改革と政策提言を積極的に行い、市民に開かれた信頼される議会を目指していきます。

躍進する大津市議会



私たち湖誠会はみなさまと よりよい大津を目指します!

津田 新三

- 議会運営委員会委員
- 施設常任委員会委員
- 総合観光対策特別委員会委員

〒520-0242 大津市本堅田五丁目9番15号



幹事(広報)

鷺見 達夫

- 議長
- 施設常任委員会委員

〒520-0843 大津市北大路一丁目11番32号



八田 憲児

- 生活産業常任委員会委員長
- 公共施設対策特別委員会委員

〒520-0026 大津市桜野町一丁目14番18号



副政調会長

竹内 基二

- 教育厚生常任委員会委員長
- 高齢者生活支援特別委員会委員

〒520-0836 大津市杉浦町19番16号



桐田 真人

- 総務常任委員会委員
- 総合観光対策特別委員会副委員長

〒520-2141 大津市大江七丁目7番32の3号



竹内 照夫

- 議会運営委員会委員長
- 生活産業常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員
- 予算常任委員会副委員長
- 決算常任委員会副委員長

〒520-0802 大津市馬場一丁目8番19号



幹事長

伴 孝昭

- 議会運営委員会委員
- 施設常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員

〒520-0043 大津市中央四丁目11番9号



幹事(会計)

近藤 眞弘

- 副議長
- 教育厚生常任委員会委員
- 予算常任委員会委員長
- 決算常任委員会委員長

〒520-2144 大津市大萱二丁目23番14号



武田 平吾

- 総務常任委員会委員長
- 高齢者生活支援特別委員会委員

〒520-0247 大津市仰木二丁目23番14号



中野 治郎

- 生活産業常任委員会委員
- 高齢者生活支援特別委員会副委員長

〒520-0113 大津市坂本三丁目11番37号



川口 正徳

- 施設常任委員会副委員長
- 高齢者生活支援特別委員会委員

〒520-2271 大津市稲津一丁目15番18号



仲野 弘子

- 議会運営委員会委員
- 教育厚生常任委員会委員
- 総合観光対策特別委員会委員

〒520-0528 大津市本堅田二丁目27番14号



副幹事長

草野 聖地

- 議会運営委員会委員
- 総務常任委員会委員
- 公共施設対策特別委員会委員

〒520-0034 大津市三井寺町2番37号



幹事(書記)

青山 三四郎

- 施設常任委員会委員
- 公共施設対策特別委員会委員長

〒520-0865 大津市南郷一丁目4番9号



政調会長

北村 正二

- 総務常任委員会委員
- 総合観光対策特別委員会委員長

〒520-0528 大津市和邇高城270番地28号



伊藤 茂

- 監査委員
- 教育厚生常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員

〒520-0837 大津市中庄一丁目15番23号



幸光 正嗣

- 生活産業常任委員会委員
- 防災対策特別委員会副委員長

〒520-2153 大津市一里山三丁目38番40号グランパト-107



6月通常会議一般質問

Q 幸光 正嗣議員

学区体育団体等への助成金について

地域には様々な団体があり、まちづくりを協働で行っていくには、財源分配方法は重要な課題である。そして自主性を発揮できるような方法や、地域の特色を出せるよう考えるべきである。

例えばスポーツ振興を考えたとき、健康増進のみならず人々が集うことにより地域の活性化やコミュニティとしても重要であり、学区体育団体の存在は大変重要である。本年度、大津市補助金適正化基本方針に則り、補助金が1/2になると地域のスポーツ振興に与える影響は大変大きいと考える。最低でも昨年と同様に補助率を3/4に維持すべきである。

学区体育団体は、市民の健康・体力づくりや生涯スポーツの普及・推進をはかる上でも、非常に重要であり、地域の発展に寄与する団体と認識している。そのことを踏まえ、平成28年度は3/4の補助率に据え置きたいと考えている。

なお現時点における基本的な方向性については、これまで地域の各種団体ごとに交付していた補助金を統合し、一括交付金という形で各学区に支出できるように検討し、地域活動を支える制度として、柔軟な地域活動の展開につながるよう検討していく。

Q 八田 憲児議員

災害時における地域の福祉施設間の連携について
本市にある児童福祉施設（乳児院）が被災した場合の支援のため、地域の福祉施設間において災害協定を結び、災害時に不足する物資を融通し合ったり、人的支援や避難スペースを提供などが行えるように連携する仕組みづくりが必要と考えるが、本市の基本的な考えと今後の取り組みについて聞く。

A

児童福祉施設・乳児院における災害発生時の施設の対応については、入所児童の安全を確保するため、避難体制や地域との協力体制を確保していくことが求められる。

特に乳児院は児童の生活施設であり、児童養護施設との連携も大切であると考えており、市としても地域の福祉施設間連携の仕組みづくりに対しては、助言など必要な支援を行っていく。

Q 武田 平吾議員

中山間地域活性化モデル事業の推進について

仰木で取り組まれている中山間地域活性化モデル事業を定着させるために、地域の特徴を生かした観光的要素を取り入れた活動や、特産品の加工販売や農家レストランなどを備えた「道の駅」のような拠点施設やトイレを整備し、大津に来る人や大津の農村に住む若者を増やすきっかけにできるべきであると考えているが、拠点施設の整備について市の見解を伺う。

A

仰木大収穫祭や、特産品・オリジナル商品の開発販売など、着実に活性化に向けた取り組みが進められているものと認識しており、こうした活動を一過性のものではなく、持続可能なものとする必要があると考えていることから、今後とも引き続き、当該事業の活動を支援し、他の中山間地域に活かせるモデルとなるよう取り組んでいく。拠点施設の整備の必要性については理解しており、施設の整備や運営については、地域や住民に主体的に行っていくことが重要であることから、今後、その手法や支援について、仰木地区活性化委員会と協議・調整を進めていく。

Q 川口 正徳議員

ダブルケアの問題について

ダブルケアの問題について、大津市としてどのように把握しているのか。また、大津市としてケアマネジャーやヘルパーへの働き掛けを行っているのか。さらに、更なる連携強化や市民に対する周知・啓発について伺う。

A

本市では、市内7カ所にすこやか相談所を開設。また、平成18年より、あんしん長寿相談所も併設し、保健と福祉の身近な窓口として、相談支援を行っている。両相談所には延べ3万件を超える相談があり、その相談では、家族の状況や、生活環境などについて丁寧に聞き取り、ダブルケアによる課題だけに留まらず、世帯全体に支援が必要なケースについては、把握したケアマネジャーやヘルパーから、あんしん長寿相談所に連絡をしていただくことにより、精神保健福祉を担当する保健所や子育て相談を担当する子ども家庭相談室等の関係部局に繋いでいく体制をとっている。市民に対する周知・啓発については、広報おつやや自治会回覧、ホームページ等でも行っているが、今後は、市民センターや医療機関、店頭の掲示板等を活用した周知啓発を行っていく。

質問、答弁は一部抜粋です。
詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。